

# 平成26年度 指定管理者評価結果

所管課 健康福祉部 障害福祉課

## 1 施設の概要等

施設名	岐阜県立みどり荘
施設所在地	岐阜市中西郷1-55
指定管理者 (共同体構成員)	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
主な施設	入所室、事務室、会議室、食堂・厨房、浴室、作業棟等

## 2 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の意見	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・CS 調査でもっと利用者に関わる時間を増やして欲しいという意見が多かった。日課や業務の見直しをして取り組まれることを期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画相談が始まり個々のニーズに沿った支援を行うことで利用者に関わる時間が増えている。木曜日の午後からの作業を利用者支援の時間としたり入浴時間を30分早めたりしたことで入浴後の時間を利用者に関われるようにしている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設運営方針で地域移行を推進するとあるが支援内容、実績とも「地域移行を推進する」に値しないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状としては新しいGHを作る事は難しいが、グループホーム利用者1名の施設入所が決まっているので現入所利用者のグループホーム移行を考慮し対応している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じて定員を満たさない原因を解明して、広報のあり方を研究する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報のあり方については障がいの理解をふまえた上で近隣の特別支援学校との連携を密にしていく。入所定員でなく生活介護利用者が1名減でしたが、来年度4月に1名入所予定である。入所希望は多いですが通所希望は作業内容や送迎の関係で決まらないことが原因にあると考えられる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針2「地域で生活する障がいを持った方やその家族を支えるサービスの提供に努める」と方針3「地域社会との交流を積極的に進め、地域に根ざした選ばれる施設作りをめざす」の具体化された姿が見えていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中一時支援や短期入所の新規利用者を増やし、利用希望に応えるよう努めた。学校や地域の施設との交流会、行事参加の機会を増やしたり自治会の清掃活動や卓球大会等に参加したりし交流を深めている。瑞穂市の評議会にも出席している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院した人に医療行為が残り、みどり荘に戻ってこられない場合があるので、戻れるように体制整備が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療行為イコール施設移行ではなくその程度や家族との話し合いで決めている。事業団内の身体障害者・高齢施設の入所者状況は把握</li> </ul>

	している。
・加齢に伴う事故が発生しているので、より一層の見守りが必要と思われる。	・移動介助の必要な方は支援マニュアル等で対応している。
・リスクに関して、その後の適切な処置と事故発生防止のためのマネジメント体制を期待したい。	・リスクマネジメント委員会で毎月ヒヤリハットや、事故報告書について原因や対策について検討している。
・福祉の店「みどり」に代わる日中活動としての自立の機会、社会参加や外出の機会等を提供できるようにされたい。	・今年度は外出の機会が1回増えている。農作物の販売で近隣施設への販売を始めた。来年度は週1回のみどり市場の販売が定着出来るよう準備中である。

### 3 平成26年度評価結果

評価員会議 の評価・意見	<b>【 評価結果 】</b>			
	項目		平均点	評価
	1	管理基準の充足状況	3. 2 0	優
	2	設置目的の達成状況	3. 2 0	優
	3	公共性の確保の状況	3. 4 0	優
	4	経営状況	3. 4 0	優
	5	その他派生的効果等	3. 4 0	優
	総合評価		3. 3 2	優
	(評価方法：5名の評価員による1～4点の4段階評価) (努力が不足している ← 1 2 3 4 → よく努力している)			
	<b>【 評価についての意見 】</b>			
<u>○管理基準の充足状況</u>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化、重度化のなかでアンケートの意見を重要として取り上げ、毎月の内科・精神科の検診に加え、レントゲン・血液・ガン・歯科の検診、そして65歳以上の女性には骨粗鬆症予防等、利用者の健康管理に努めている点が評価できる。</li> <li>・職員研修において、障がい区分研修、発達障がい研修、自閉症・発達障がいを考える研修など、専門研修に力を入れていることが評価できる。</li> <li>・外出の機会の増加や農作物の販売として近隣施設をはじめ、週1回のみどり市場の販売をしていることは、利用者の生きがい、働き甲斐、喜びに通じることであり評価できる。</li> <li>・生産・創作活動の支援活動を、組織として一層対応できるよう検討されたい。</li> <li>・多くの研修に取り組んでいることから、研修前と研修後（数か月後。半年後、一年後）のサービスの質の違いを明らかにする工夫を図ることを期待する。</li> </ul>				
<u>○設置目的の達成状況</u>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設入所の利用率が高い。また、地域の障がい者に対して、短期入所・日中一時支援事業を通して、地域のニーズに応えている点が評価できる。</li> </ul>				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重度化、高齢化している現状のなかで、ウォーキングや散歩などで体力向上に努めていることは、利用者にとっては生活の中での張り合いになっているケアとして評価できる。</li> <li>・ 施設運営の方針について、施設の立地条件、環境及び利用者の状態をよく踏まえて設定されている点が評価できる。</li> <li>・ 入所、通所とも若干だが定員を割りこむ傾向にあるため、大幅な定員割れを起こさないために原因を解明して対策を立てられたい。</li> <li>・ 通所サービスの利用が更に促進されるよう利用者に応じた作業内容の改善や送迎等の改革を検討されたい。</li> </ul> <p>○公共性の確保の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模災害に備えて施設だけでなく地域や消防署立合いのもとで防災訓練を実施するとともに、地区自主防衛隊や避難生活班として、地域との協力体制を築いた点が評価できる。</li> <li>・ 人権への配慮として、行動基準確認票と虐待防止チェックリストの自己点検チェックと他者チェックで自己のケアの振りかえりをしている点が評価できる。</li> <li>・ 利用者の生きがいに繋がる活動として農作物、花苗作り、地域への販売活動に力を入れるとともに、行事の企画からの参加や外出の希望、昼食の選択メニューなど利用者の自己選択・自己決定により満足度の充実に努めた点が評価できる。</li> <li>・ 行動基準確認票と、虐待防止チェックリストが慣れ合いにならないように、常に原点に戻ってできる管理をしていく事を期待する。</li> </ul> <p>○経営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の施設と共同契約・共同入札を行って、経費削減に努めており、経営状況は概ね適正である。また、リーダー会議において収支状況を周知して、職員に経営に対する意義付けをしている点が評価できる。</li> <li>・ 収入が前年より減になっているが、人件費、事業費とも増額になっているのは、サービスの向上に努めた証であり、評価できる。</li> </ul> <p>○その他派生的効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域貢献として、農作物・花苗を販売する「みどり市場」の開設や、地域の高齢者・障がい者宅へ弁当の配食サービスを行っている点が評価できる。</li> <li>・ 学校や地域の施設との交流会、自治会の清掃活動や卓球大会などとの交流が評価できる。特に、ボランティアとして清掃は地域の一人としての活動であることから評価できる。</li> </ul>
<p>県の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。</li> </ul>